



日経 NIKKEI
SDGs
FESTIVAL
OSAKA
UMEDA

日経SDGsフェス大阪梅田

—2025年大阪・関西万博に向けて—

P R O G R A M

日時 2021年2月18日(木)・19日(金)・20日(土)

主催/日本経済新聞社 日経BP

後援/大阪商工会議所 関西経済連合会 関西経済同友会 2025年日本国際博覧会協会

協賛/ECC 大倉 カルテック クモノスコオペレーション KMユナイテッド さつき サティスファクトリー サラヤ
沢井製薬 SCREENホールディングス 島津製作所 竹中工務店 日本コカ・コーラ 阪急阪神ホールディングス パソナグループ
MILKBOTTLE SHAKERS ヤギ 大阪経済大学 大阪大学 大阪市立大学 大阪府立大学 岡山大学 金沢大学 関西大学
関西学院大学 福井工業大学 立命館大学 龍谷大学

Day
1

※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

2月18日(木) | SDGsビジネス会議 ~いのちをつなぐ~

10:00-10:30 基調講演

テーマ「2025年の大阪・関西万博開催、
SDGs先進都市の実現に向けた大阪府の取組」



吉村 洋文氏 大阪府知事

1998年3月 九州大学法学部卒業
司法試験合格
2000年10月 弁護士登録
2011年4月 大阪市会議員
2014年12月 衆議院議員
2015年12月 大阪市長
2019年4月 大阪府知事

10:30-11:00 企業講演

テーマ「科学技術で社会に貢献する ~島津製作所のSDGsに向けた取り組み~」



稲垣 史則氏 島津製作所 常務執行役員 環境経営担当 経営戦略副担当

1982年3月 東京大学 法学部 卒業	2008年7月 大臣官房参事官(通商政策担当)
4月 通商産業省入省(立地公署局総務課)	11月 大臣官房政策評価広報課長
1991年4月 外務省在トロント総領事館領事	2009年8月 原子力安全基盤機構 理事
1997年6月 生活産業局通商室長	2010年7月 大臣官房政策評価審議官
1998年7月 機械情報産業局情報政策企画室長	2011年4月 日本貿易保険 理事
2000年6月 内閣法制局第四部参事官	2015年6月 島津製作所 常務執行役員 経営戦略・営業副担当
2005年12月 特許庁総務部秘書課長	2017年6月 常務執行役員 経営戦略・営業副担当 地球環境管理担当
2006年11月 通商政策局通商政策課長	2019年4月 常務執行役員 経営戦略副担当 環境経営担当

11:00-11:30 企業対談

テーマ「社会貢献をビジネスに ~さつきの4つの事業」



祖父江 一郎氏 さつき 代表取締役社長

同志社大学卒業後、株式会社タイガースポリマー入社。
その後、さつき株式会社へ入社し1980年社長就任。
今年、創業90年を迎える。



東ちづる氏 俳優/Get in touch 代表

広島県出身。会社員生活を経て芸能界へ。ドラマから情報番組のコメンテーター、司会、講演、出版など幅広く活躍。プライベートでは骨髄バンクやドイツ平和村、障がい者アート等のボランティアを25年以上続けている。2012年10月、アートや音楽、映像、舞台等を通じて、誰も排除しない、誰もが自

分らしく生きられる“まぜこぜの社会”を目指す、一般社団法人「Get in touch」を設立し、代表として活動中。自身が企画・インタビュー・プロデュースの記録映画「私はワタシ～over the rainbow～」が順次上映。現在は、配信サイトVimeoにて「まぜこぜ一座『月夜のからくりハウス』」と共に

配信中。

著書に、母娘で受けたカウンセリングの実録と共に綴った『〈私〉はなぜカウンセリングを受けたのか～「いい人、やめた!」母と娘の挑戦』や、いのち・人生・生活・世間を考えるメッセージ満載の書き下ろしエッセイ「らいいふ」など多数。

11:30-12:00

企業講演

テーマ「カルテックの光触媒技術による地球環境問題への取り組み」



染井潤一氏 カルテック 代表取締役社長

1986年3月徳島大学大学院化学工学専攻修士課程修了。光触媒の研究に従事。大手家電メーカー入社後、テレビチューナー関連の業務や新規事業の立ち上げに参画。その他、LED照明、IoTセンター、理美容

商品の開発に携わり、あらゆるビジネスの芽をリサーチするなかで、各段に材料技術が進化した光触媒に着目。社内で商品化提案したところ承認されずに断念。「自分の手でやってみよう」と一念発起し、2018年3月

に大手家電メーカーを退社。志を同じくするエンジニアたちとともに同年4月にカルテック株式会社を創業。約1年半で自社商品第1号を発売した。1961年8月生まれ、奈良県大和郡山市出身。

13:00-13:30

基調講演

テーマ「SDGsと『いのちをつなぐ』を起点としたビジネスへの期待」



村上芽氏 日本総合研究所 創発戦略センター シニアマネージャー

京大法学部卒業、日本興業銀行（現みずほ銀行）を経て2003年より株式会社日本総合研究所。現在は創発戦略センター／ESGリサーチセンターでESG企業調査、SDGs、子どもの参加論などを手掛ける。

主な著書に『図解SDGs入門』（日経BP 日本経済新聞出版）、『日経文庫 SDGs入門』（日経BP 日本経済新聞出版、共著）などがある。

13:30-14:00

企業講演

テーマ「沢井製薬とSDGs ～ジェネリック医薬品を通じた医療への貢献～」



澤井健造氏 沢井製薬 代表取締役社長

2001年4月 沢井製薬 入社
2010年6月 取締役 戦略企画部長
2013年6月 取締役 常務執行役員 戦略企画部長 兼 営業本部副本部長
2017年6月 取締役 専務執行役員 戦略企画部長 兼 営業本部管掌
Upsher-Smith Laboratories, LLC Chairman
2018年6月 取締役 専務執行役員 戦略企画部長 兼 研究開発本部管掌
2020年6月 代表取締役社長（現職）

14:00-14:30

企業講演

テーマ「コカ・コーラシステムが取り組む循環型社会の構築」



田中美代子氏 日本コカ・コーラ 広報・パブリックアフェアーズ&サステナビリティ本部 副社長

2002年 シーメンスヘルスケア 入社
2008年 PwCあらた有限責任監査法人 入所
2011年 日本アルコン 入社 広報部長
2016年 ジョンソン・エンド・ジョンソン メディカルカンパニー入社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ 部長
2019年 日本コカ・コーラ 入社 広報・パブリックアフェアーズ&サステナビリティ本部 副社長

14:45-15:15

企業講演

テーマ「明日から始められる投資ゼロのサステナブル経営」



恩田 英久氏 サティスファクトリー 取締役社長

興銀インベストメント、UBS信託銀行等を経て、現在は再生可能エネルギーと廃棄物マネジメントの事業開発に従事。環境ファイナンス(ESG投資)と地域インフラサービスを

専門とし、2012年よりウエストエネルギーソリューション代表取締役社長、2014年より東京大学大学院 環境マネジメントプログラム(MOT) 教員を務め、現職。

15:15-16:15

クロージング講演

テーマ「イノベーションの観点からSDGsの更にその先を考える」



田中 耕一氏 島津製作所 エグゼクティブ・リサーチフェロー 田中耕一記念質量分析研究所 所長

富山県生まれ。1983年3月東北大学工学部電気工学科 卒業。同年島津製作所入社。92年より、英国Kratos Group PLC・Shimadzu Research Laboratory (Europe) Ltd.へ2度の出向を経て、2002年分析計測事業部 ライフサイエンス研究

所、同年11月にフェロー就任、03年田中耕一記念質量分析研究所 所長。10年から5年間、最先端研究開発支援プログラムに中心研究者として参加。12年シニアフェロー就任。20年エグゼクティブ・リサーチフェロー就任。専門分野は質量分析を用いた

生体関連物質の解析手法等の研究。89年日本質量分析学会奨励賞、02年文化勲章、文化功労者、ノーベル化学賞、03年日本質量分析学会特別賞を受賞。



2月19日(金) | SDGs 教育会議 ~次代をつくる学び~

10:00-10:30

基調講演

テーマ「よく学び、よく遊ぶ ~教育について~」



安藤 忠雄氏 建築家

大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。代表作に「六甲の集合住宅」「光の教会」「FABRICA(ベネトンアートスクール)」「ビューリッツァー美術館」「フォートワース現代美術館」「地

中美術館」「表参道ヒルズ(同潤会青山アパート建替計画)」「ブント・デラ・ドガーナ」「上海保利大劇場」「クラーク美術館」「真駒内滝野霊園頭大仏」「こども本の森中之島」「ブルス・ドウ・コムルス」など。11年

東日本大震災復興構想会議議長代理、「桃・柿育英会東日本大震災遺児育英資金」実行委員長イェール、コロンビア、ハーバード大学の客員教授歴任。97年より東京大学教授、03年より名誉教授。

10:30-11:00

大学講演

テーマ「『人類と地球の健康』を共創する 地方国立総合大学の新たな価値と取組み ~地域と世界をつなぐ SDGs大学経営とグローバル・エンゲージメント戦略~」



横井 篤文氏 岡山大学 副学長(特命(海外戦略)担当) / ユネスコチェアホルダー

日本、米国、オランダ、南アフリカに在住し、建築・都市計画・持続可能な開発を学ぶ。大手建設会社勤務、欧州留学、在外研究、社会イノベーションと国際教育に関する財団設立等を経て2015年岡山大学上級グローバル・アドミニストレーターに着任。2017年副理事(国際担当)、2018年副学長(海外

戦略担当)を経て2019年より現職。2018年皇太子同妃両殿下御成婚記念「国際青年交流会議(内閣府主催)」でSDGsに関する基調講演、皇太子同妃両殿下下行啓ディスカッションのファシリテーターを務める。その他、ユネスコチェアホルダー、地球憲章国際審議会委員(在、国連平和大学)をは

じめ、世界経済フォーラムで発言された世界190ヶ国以上のユースが集う次世代リーダー・グローバルサミット「One Young World」日本委員・理事などの国際的な要職も務める。2020年地球憲章国際本部より「Certificate of Recognition」を受賞。

テーマ「関西大学のSDGs –再生可能エネルギーを利用したサンゴ礁再生の試み–」



高橋 智幸氏 関西大学 副学長(社会安全学部 教授)

東北大学工学部土木環境工学科を卒業、同大学院修士課程を修了後、博士課程に進学。しかし、北海道南西沖地震津波が発生した1993年に中途退学し、同大学災害制御研究センター助手に就任。1998年に津波による土砂移動に関する研究で博士(工学)を授与。京都大学防災研究所助

手、秋田大学工学資源学部准教授を経て、2010年に本学着任。ワシントン大学やハワイ大学に客員研究員として長期滞在。専門は水災害論。10回以上の災害調査を実施。数値計算や水理実験、観測による水災害や自然エネルギーに関する査読論文は100編以上。多数の招待講演に加えて、Coastal

Engineering Journal Citation Awardなどを受賞し、競争的研究資金も多数獲得。文部科学省や国土交通省、内閣府、経済産業省などの省庁および大阪府や大阪市などの自治体の防災および環境に関する委員を多数歴任。

11:00-11:30

企業講演

テーマ「淡路島への本社機能移転 パソナが目指す社会のあり方改革」



南部 靖之氏 パソナグループ 代表取締役グループ代表

1952年生まれ、兵庫県神戸市出身。1976年3月関西大学工学部卒。1976年、「家庭の主婦の再就職を応援したい」という思いから、株式会社テンポラリーセンター(現:株式会社パソナグループ)を創業。以来「社会の問題点を解決する」という不変の企業理念のもと、年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、誰もが自由に好きな仕事に挑戦できる社会インフラの構築に取り組んでいる。

2003年からは農業分野の人材育成をスタート。さらに、東京・大手町に地下農場「PASONA O2」や、自然との共生をテーマにしたオフィス「アーバンファーム」、酪農や食の安全に関する情報を発信する「パソナ大手町牧場」を開設するなど、国内外に向けた新しい農業のあり方を提案。現在、東京一極集中による様々な社会課題の解決と地域の活性化を目指し、京丹後、東北、

淡路等、全国各地で、多様な才能を持った人材が集まって地域産業を活性化させる「人材誘致」による新たな雇用創出に取り組んでいる。

2020年には兵庫県淡路島に本社機能の一部移転を発表。未来に向けた新しい働き方・社会のあり方を提言し続けている。

11:30-12:00

大学講演

テーマ「低所得世帯への教育費支援制度と子どもの貧困」



藤澤 宏樹氏 大阪経済大学 経営学部ビジネス法学科 教授/経営学部長

金沢大学 博士(法学)取得。
1997年国立福島工業高等専門学校助手、1999年同講師、2002年会津大学 短期大学部社会福祉学科講師、2003年同助教授、2005年大阪経済大学 経営学部助

教授、2007年同准教授、2016年同教授、2019年より経営学部長を務める。
就学援助制度をはじめとする低所得世帯教育支援制度を公法学的実証的見地から研究している。

テーマ「デザインで拓く地域の未来 –ふくいで学び地域を創るSDGs–」



池田 岳史氏 福井工業大学 副学長

福井工業大学副学長・環境情報学部デザイン学科教授。
埼玉県生まれ。1994年愛知工業大学工学部卒業。96年愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了。修士(芸術)。2000年京

都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科修了。博士(学術)。専門は都市景観デザイン、情報デザイン。福井工業大学工学部准教授などを経て12年教授(15年より環境情報学部)。13年より学長補佐。17年より副学長。

12:00-12:30

企業講演

テーマ「『未来は、言葉で変わる』英語教育におけるSDGsの取り組み ~持続可能な社会の創り手育成を目指して~」



太田 敦子氏 ECC 執行役員 ECC総合教育研究所所長

1987年5月ECC入社。幼児から大人までを対象とした、幅広い英語教育の開発、指導法の研究に従事。
また、英語指導者育成のプログラム開発にも携わる。
近年では、小学校教師向けのセミナー、企

業向けの社員英語教育セミナー等担当。
2012年12月より総合教育研究所所長、2014年12月よりECC総合研究所・マーケティング本部部長を兼任、2020年12月執行役員に就任。

13:00-13:30

大学講演

テーマ「SDGsへの挑戦」

西尾 章治郎氏 大阪大学 総長



1980年に京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)。京都大学工学部助手、カナダ・ウォータールー大学客員研究助教授、大阪大学基礎工学部助教授、情報処理教育センター助教授を経て、92年同工学部教授。その後、大阪大学サイバーメディアセンター長(初代)、同大学院情報

科学研究科教授、同研究科長、大阪大学総長補佐、2007年～11年同理事・副学長、同サイバーメディアセンター長を歴任し、2015年8月に第18代大阪大学総長に就任。その間、文部科学省科学官、同科学技術・学術審議会委員、同文化審議会臨時委員、同大学設置・学校法人審議会専門委員、

日本学術会議会員(情報学委員長)、内閣府総合科学技術会議専門委員、日本学術振興会産学協力総合研究連絡会議委員、科学技術振興機構研究主監(PD)、日本ユネスコ国内委員会委員をはじめ多くの委員を歴任。

テーマ「国際協力とソーシャルビジネス」

西野 桂子氏 関西学院大学 総合政策学部 教授/国連・外交プログラム室 副室長



国際基督教大学教養学部卒業。アメリカ・ジョンスホプキンス大学高等国際問題研究大学院修了(国際関係学修士)。国連児童基金(UNICEF)バングラデシュ駐在事務所にて広報官及びWID・栄養プロジェクト担当官を歴任後、同基金ニューヨーク本部人事部のリクルート担当官を経て、開発コンサルタント会社グローバル・リンク・マネー

ジメント株式会社を設立、2002年に特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュート(GLMi)を設立し、代表を務める。国際協力を目指す若者の育成のために「国際協力塾」を開催するとともに、ベトナム、ネパール、フィリピン、ケニアで草の根の国際協力プロジェクトを実施した。2013年より現職。総合政策学部で国際関

係論・国際協力論等を教える他、全学を対象とした学部・大学院向けの国連・外交関連プログラム・コースに従事。近著に総合政策学部発行の『グローバルキャリアのすすめ(第一章)』がある。また、アジア太平洋評価学会の副会長として、アジア地域におけるSDGsのモニタリング・評価の推進に注力している。

13:30-14:00

基調講演

テーマ「2025年大阪・関西万博に夢見るもの ~いのちが燃える学び・遊び~」

中島 さち子氏 steAm 代表取締役(音楽・数学・STEAM教育)/大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー



ニューヨーク大学 Tisch School of the Arts, ITP (Interactive Telecommunications Program) 修士。国際数学オリンピック金メダリスト。文部科学省教育研究開発企画評価会議協力者。経済産業省「『未来の教室』と

EdTech」]研究会研究員。「未来の教室」実証プロジェクトにも多数携わる。明治大学先端数理科学インスティテュート(MIMS)文理融合部門研究員。群馬県新総合計画策定懇談会構成員。フルブライター。米日財団日米リーダーシップ

プログラムフェロー。主な著書に「人生を変える『数学』そして『音楽』」「音楽から聴こえる数学」(講談社)絵本『タイショウ星人のふしぎな絵』(絵:くすはらじゅんこ、文研出版)ほか。

14:00-14:30

大学講演

テーマ「KU Triangle for SDGs ~地域・国際・教育の融合から新たな知の創造へ~」

和田 隆志氏 金沢大学 理事(研究・社会共創担当)/副学長



1988年 金沢大学医学部医学科卒業
1992年 金沢大学大学院医学研究科博士課程修了、博士(医学)
1995年 米国ハーバード大学Brigham and Women病院 研究員
2001年4月 金沢大学助手
2005年4月 金沢大学講師
2006年4月 金沢大学助教授
2007年4月 金沢大学准教授

2007年9月 金沢大学教授
2016年4月 金沢大学学長補佐(研究戦略担当)
2018年4月 金沢大学医薬保健学域医学類長
2018年4月 金沢大学副学長(研究力強化・国際連携担当)
2020年4月 金沢大学理事(研究・社会共創担当)/副学長
厚生科学審議会専門委員などを務める。

テーマ「SDGs実現に挑む若き力 ~ソーシャルベンチャーの可能性」

深尾 昌峰氏 龍谷大学 政策学部 政策学科 教授/龍谷エクステンションセンター(REC)センター長



熊本県出身。滋賀大学大学院修了。1998年きょうとNPOセンター事務局長に就任。2001年には日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」を立ち上げに参画し理事長などを歴任。2003年から京都市市民活動総合センターの初代センター

長。2009年から京都地域創造基金の理事長に就任。2010年4月に龍谷大学准教授に就任し2018年4月から教授。2012年には社会的投資を促進する株式会社PLUS SOCIALを起業し、事業を展開。2014年にはグッドデザイン賞を受賞。2016年からは

日本初の社会的投資専門金融会社プラスソーシャルインベストメントを起業し、代表取締役会長。現在、GSG国内諮問委員会委員、総務省ふるさとづくり懇話会委員、滋賀県東近江市参与なども務める。

テーマ「関西の女性リーダー育成に活気！産官学からのチャレンジと課題」



澤田 拓子氏 塩野義製薬 取締役 副社長 ヘルスケア戦略本部長

京都大学農学部卒業後、塩野義製薬会社に入社。以後、30年以上にわたり医薬品開発や経営戦略に携わる。専務執行役員グローバル医薬開発本部長、取締役上席執行役

員経営戦略本部長などの要職を歴任。2018年より現職の取締役 副社長兼CIOを務め、2020年4月よりヘルスケア戦略本部長を兼任する。



林 有理氏 大阪府四條畷市 副市長

1980年大阪府生まれ。慶応義塾大学卒業後、2003年に新卒でリクルートに入社。住宅情報誌の営業・企画を経て、2009年に『SUUMOマガジン』の編集長に。2013年に退職後は、フリー編集者や母校大学院博士課程で研究するなど、5つの肩書で活躍。育児休業中の36歳のとき、大阪府四

條畷市の副市長公募のニュースを知り、応募。1700人超の応募者から選ばれ、2017年10月に同市副市長に着任。リクルート時代に培ったスピード経営やマーケティングスキル、人事評価システムを持ち込み、市庁の組織改革に着手。日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2020」受賞。



大内 章子氏 関西学院大学 経営戦略研究科 ビジネススクール教授

慶応義塾大学商学部卒業後、総合商社勤務を経て、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学 博士(商学)。現在は関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授。大卒女性ホワイトカラーのキャリア形成の研究

活動を背景にして、本学にて、「ハッピーキャリアプログラム」という名称の下、「女性のキャリアアップ・起業コース」「女性リーダー育成コース」「大学連携オンラインコース」の姉妹コースを立ち上げ、企画運営する。近著に「女性の管理職昇進—それは企業の本気

の人材育成あってこそ」『日本労働研究雑誌』2020年9月号、「女性の雇用と女性活躍推進～業務配分、配置転換、評価、昇進にみる～」放送大学教材『新時代の組織経営と働き方』12章(2020年)。

テーマ「人を活かし技に生きる経営 ～多様性・生産性向上・事業変革～」



竹延 幸雄氏 KMユナイテッド 代表取締役社長／早稲田大学大学院 創造理工学研究科 棟近研究室

1973年広島県生まれ。早稲田大学卒業。大手鉄鋼メーカー、広告会社を経て、2003年に妻の実家である塗装会社の竹延に入社。「職人の後継者がいない」という問題を突破するため、職人育成会社のKMユナイテッドを起業し社長就任。

女性をはじめ多様な人材の職人育成は広く注目を集め、2016年経済産業大臣表彰「新・

ダイバーシティ経営企業100選」、2017年厚生労働大臣表彰「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」最優秀賞、2019年中小機構主催「ジャパン・ベンチャーアワード」中小企業庁長官賞を受賞するなど高い評価を受ける。2015年から関西学院大学大学院経営戦略研究科に通い2017年修了。2019年1月内閣総理大臣施政方針演説に取り

上げられる。スマホを使った職人支援プラットフォームや業務プロセスアウトソーシングにも取り組む。2020年9月から早稲田大学大学院創造理工学研究科・棟近教授の下、ヒトとロボットが協働する塗装ロボット開発についてアカデミックな見地からもアプローチしている。

テーマ「東大債はなぜ大成功したのか」



五神 真氏 東京大学 総長

1980年東京大学理学部卒業、1982年同大学院理学系研究科物理学専門課程修士課程修了。1983年同博士課程退学。1985年理学博士(東京大学)。専門は量子物理学。

1998年東京大学大学院工学系研究科教授、2010年同理学系研究科教授、2012年同副学長、2014年同理学系研究科長を経て、2015年4月より現職。科学技術・学術審議会委員、知的財産戦

略本部本部長などを務める。

著書に『変革を駆動する大学：社会との連携から協創へ』(東京大学出版会)、『大学の未来地図：「知識集約型社会」を創る』(ちくま新書)がある。

**鈴木 茂晴氏** 日本証券業協会 会長

1971年3月 慶應義塾大学 経済学部 卒業
 4月 大和証券 本店営業部 入社
 1986年5月 米国ウォートン・スクール留学
 1997年6月 取締役
 1998年6月 常務取締役 インベストメント・バンキング本部長
 1999年4月 大和証券グループ本社 常務取締役
 2001年7月 専務取締役 兼 執行役員
 大和証券メディアネットワークス 代表取締役社長

2002年6月 大和証券SMBC 専務取締役 投資銀行本部長
 兼 大和証券グループ本社 特別執行役員
 2004年6月 大和証券グループ本社 取締役兼代表執行役社長 (CEO)
 大和証券 代表取締役社長
 2011年4月 大和証券グループ本社 取締役会長兼執行役
 大和証券 代表取締役会長
 2017年4月 大和証券グループ本社 取締役最高顧問
 7月 日本証券業協会 会長
 大和証券グループ本社 名誉顧問

●モデレーター

鈴木 亮 日本経済新聞社 編集委員**2月20日(土) | SDGs万博・未来構想 ~持続可能なまちとくらし~****10:00-10:30 基調講演****テーマ「2025年『大阪・関西万博』への期待****—先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気—****松本 正義氏** 関西経済連合会 会長/住友電気工業 取締役会長

1967年3月 一橋大学法学部卒業
 4月 住友電気工業入社
 1992年1月 同 自動車企画部長
 1992年7月 同 自動車部長
 1996年6月 同 支配人兼中部支社長
 1997年6月 同 取締役支配人中部支社長

1999年6月 同 常務取締役
 2003年6月 同 専務取締役
 2004年6月 同 代表取締役社長
 2017年6月 同 取締役会長

●関西経済連合会関係
 2011年5月 副会長
 2017年5月 会長

10:30-11:00 企業講演**テーマ「~いのち輝く未来社会のデザイン~ SDGsへチャレンジ」****更家 悠介氏** サラヤ 代表取締役社長

1951年生まれ。1974年 大阪大学工学部
 卒業。1975年カリフォルニア大学パークレー
 校修士課程修了。1976年サラヤ入社。工
 場長を経て1998年代表取締役社長に就任、
 現在に至る。
 日本青年会議所会頭などを歴任。エコデザイ

ンネットワーク副理事長、ゼリ・ジャパン理事長、
 大阪商工会議所常議員、関西経済同友会
 常任幹事、日本食品衛生協会理事、ボルネ
 オ保全トラスト理事、日本WHO協会副理事
 長、在大阪ウガンダ共和国名誉領事などを務
 める。

2010年 藍綬褒賞、2014年 渋沢栄一賞受
 賞。
 著書に「これからのビジネスは『きれいごと』
 の実践でうまくいく」(東洋経済新報社 2016
 年9月発行)。

11:00-11:30 企業講演**テーマ「まちづくり総合エンジニアリング企業の挑戦」****佐々木 正人氏** 竹中工務店 取締役執行役員社長

1977年3月 東京大学 工学部都市工学科 卒業
 4月 竹中工務店 入社
 2002年4月 関西プロジェクト推進本部長
 2007年3月 役員補佐
 2012年3月 執行役員

2015年3月 常務執行役員
 2017年3月 専務執行役員
 2018年3月 取締役専務執行役員
 2019年3月 取締役執行役員社長

11:30-12:15

パネルディスカッション

テーマ「Loopach -新しいパッキングプラットフォームが育むコミュニティの可能性-」



喜多 泰之氏 MILKBOTTLE SHAKERS 代表取締役

1987年、大阪府豊中市生まれ。アパレル業界の両親の下、幼い頃よりインポートの洋服や文化に囲まれて育つ。2007年、大学在学中にURBAN RESEARCH DOORS 茶屋町店(大阪)にショップスタッフとしてアルバイト入社。2010年、近畿大学経営学部商学科卒/アーバンリサーチ入社。店長職

を経て、ブランドPR・バイヤー・イベント企画・家具企画・CSRなど兼務し、ブランディング、野外キャンペーンの企画運営を実践。2018年、フリーランスブランディングディレクターとして活動開始。Green Down Project のソーシャルデザインディレクター就任。2019年、「MILKBOTTLE SHAKERS」

を設立(代表取締役)。2020年、新規事業「Loopach」を発表。現在は、アパレル業界の社会・環境へのサステナブルなビジネスモデルの可能性を探り続けている。



藤井 豊氏 ヤギ 営業第二本部 第一事業部営業三課 課長

1980年大阪府河内長野市生まれ。2004年近畿大学卒、イケガミ入社。2007年ヤギ入社。大手通販会社向け営業を経て、大手セレクトショップ向け営業で、アパレルOEM・ODM

ビジネスに携わるなか、GreenDownProjectに参加し、MILKBOTTLE SHAKERS 喜多氏と出会う。2019年より現職。



池谷 啓介氏 暮らしづくりネットワーク北芝 事務局長

1973年東京都生まれ。東洋大学大学院国際地域学研究科修了。1997年NGO UrbanResourceCentrePhnomPenh 入職。2007年より現職。近畿大学文芸学部非常勤講師、大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員、日本民間公益活動連携機構JANPIA 専門家委員。BBQ 中級インストラクター。

●モデレーター



川本 健太郎氏 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 准教授・社会福祉士

1981年大阪生まれ。2006年関西学院大学社会学研究科修了後、同大、社会学部助手、人間福祉学部特任助教を歴任。2012年より敬和学園大学・講師、2016年立正大学社会福祉学部准教授を経て2020年より現職。

社会活動として、2015年より協同総合研究所理事、2016年から2020年までGreenDownProject 理事、2019年6月よりMILKBOTTLE SHAKERS 取締役にて就任。

12:15-12:45

大学講演

テーマ「社会共生価値の創造に向けて」



仲谷 善雄氏 立命館大学 学長

1958年大阪府生まれ。1981年大阪大学人間科学部卒業。1989年神戸大学で学術博士を取得。2004年より立命館大学情報理工学部教授。情報理工学部副部長、総合科学技術研究機構長、情報理工学部

長、学校法人立命館副総長・立命館大学副学長等を歴任し、2019年より現職。専門分野は、防災情報システム、人工知能、認知工学など。

13:00-13:30

基調講演

テーマ「2025年大阪・関西万博とSDGs」



井上 信治氏 国際博覧会担当大臣

1969年10月、東京都生まれ。94年3月、東京大学法学部卒業。同年4月、建設省入省。98年9月、ケンブリッジ大学大学院土地経済学部修士課程修了。2003年5月、国土交通省退職。同年11月、衆議院議員初当選以来6期連続当選。06年10月、自由民主党副幹事長。07年8月、自由民主党

青年局長。09年10月、自由民主党内閣部会長。12年10月、自由民主党総務部会長。同年12月、環境副大臣兼内閣府副大臣【第2次安倍内閣】。14年9月、衆議院内閣委員長。15年10月、環境副大臣兼内閣府副大臣【第3次安倍第1次改造内閣】。16年9月、自由民主党団体総局長、副幹事長。

19年9月、自由民主党選挙対策委員長代理、副幹事長。20年9月、国際博覧会担当、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策)【管内閣】。

13:30-14:00 企業講演

テーマ「サステナブルな社会の実現に向けて」



角和夫氏 阪急阪神ホールディングス 代表取締役会長 グループ CEO

1973年3月 早稲田大学政治経済学部卒業
4月 阪急電鉄入社

2000年6月 同 取締役(鉄道事業本部長)
2002年6月 同 常務取締役(鉄道事業本部・統括本部担当)
2003年6月 同 代表取締役社長
2005年4月 阪急ホールディングス代表取締役社長
2006年10月 阪急阪神ホールディングス代表取締役社長

2014年3月 阪急電鉄代表取締役会長(現在)
2017年6月 阪急阪神ホールディングス代表取締役会長 グループCEO
2011年5月より関西経済連合会副会長

14:00-14:30 大学講演

テーマ「いのち輝く未来大阪」

Honaikude (大阪・関西万博パビリオン出展活動学生団体)



村上由三氏 大阪市立大学 理学部(物理学科数理物理研究室)4年生

- ・国際交流サークルjamboree 元副代表(大1.10月)
- ・十津川村 武蔵踊り研究会(大1.11月)
- ・APSSA アジア学生国際会議にて発表(大2.8月)
- ・国際交流団体OGM 元代表(大2.11月)
- ・物理学研究会 元会長(大2.3月)
- ・大阪市立大学140周年式典 パネリスト登壇(大4.11月)



川岸啓人氏 大阪府立大学 大学院工学研究科 博士後期課程2年生 物質・化学系専攻 化学工学分野

- ・Nara National College of Technology 卒業(大2.3月)
- ・Best Poster Award:The 10th International Symposium on Microchemistry and Microsystems (M2.6月)
- ・学術振興会 特別研究員DC1 採択(M2.10月)
- ・ビジネスアイデアコンテスト 陵友会賞(M2.10月)
- ・Best Poster Award: The 11th International Symposium on Microchemistry and Microsystems (D1.5月)
- ・若手ポスター賞:第86回日本分析化学会年会(D1.9月)
- ・優秀発表賞:化学とマイクロ・ナノシステム学会第40回研究会(D1.11月)
- ・Flash Presentation Award: The 24th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (D2.10月)

14:45-15:45 基調対談

テーマ「未来社会構築に向けて前進する関西経済
～ポストコロナの未来像へとつながる万博・SDGs～」



廣瀬恭子氏 大阪商工会議所 副会頭/広瀬製作所 代表取締役社長

1959年兵庫県生まれ。82年に立命館大学大学院を修了し、広瀬製作所に入社。2001年から代表取締役社長。09年から日本縫製機械工業会副会長。20年6月から大阪商工会議所の女性会会長を務め、11月に副会頭に就任。



生駒京子氏 関西経済同友会 常任幹事/プロアシスト 代表取締役社長

大学卒業後、大手ソフトウェア会社勤務、専業主婦を経て1994年に有限会社プロアシストを設立。2001年 株式会社に改組。経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」、内閣府「女性のチャレンジ賞 特別部

門賞」などを受賞。現在、関西経済同友会常任幹事、大阪商工会議所 一号議員、大阪産業局理事、日本WHO協会理事、生産技術振興協会理事、大阪大学招聘教授なども務めている。

15:45-16:15

企業講演

テーマ「バーチャル万博の実現にむけて」

中庭 和秀氏 クモノスコポーレーション 代表取締役社長

1995年 阪神淡路大震災の復興支援を目的に関西工事測量（現：クモノスコポーレーション）を設立する。独自の発想力で様々な測量機を発明し、中でも100m先の0.2mmのひび割れを安全・正確に計測できるひび割れ計測システム「KUMONOS」

は、測量業界の常識を覆した、世界に誇る当社独自の機器。「ものづくり日本大賞」はじめ数々の賞を受賞し、現在では、国内はもとより世界28か国で展開している。また、3次元レーザースキャナを国内で初めて導入し、3次元計測のバイオニアとして、

2000件以上、日本一の実績と技術をもって、土木建設業界だけではなく、様々な業種業界へ事業を拡大している。国内外でのインフラの維持管理の取組みが認められ、2019年SDGsにおける国際ビジネス事例へ選定を受ける。

※2021年2月時点 自社調べ



16:15-17:15

社会起業家パネルディスカッション

テーマ「コロナ禍の現場の声を聴き、誰もが関わることのできる明日の一步へ」

川口 加奈氏 Homedoor 理事長

14歳でホームレス問題に出会い、ホームレス襲撃事件の根絶をめざし、炊出しなどの活動を開始。19歳でHomedoorを設立し、シェアサイクルHUBchari事業等で生活困窮者ら累計2000名以上に就労支援や生

活支援を提供する。Googleインパクトチャレンジ グランプリ、人間力大賞グランプリ・内閣総理大臣賞等を受賞。日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」に選ばれる。大阪市立大学卒業。1991年大

阪府高石市生まれ。著書に「14歳で“おっちゃん”と出会ってから、15年考えつづけてやっと見つけた「働く意味」(ダイヤモンド社)。



堀 久仁子氏 サービスグラント 関西事務局スタッフ

コミュニティ活性化支援を行う団体にて、コミュニティ施設の運営管理業務のほか、企業・専門家との協働事業のコーディネートやNPOとの連携による事業の企画運営を担

当。2013年より非常勤としてサービスグラントが実施するホームタウンプロボノの運営に携わる。主に企業や行政のプロボノプロジェクトを担当。



●モデレーター

中川 悠氏 チュラキューブ 代表理事

1978年、兵庫県伊丹市生まれ。近畿大学 商経学部、大阪市立大学院 創造都市研究科卒。精神病院を経営する母方の祖父、技師装具の開発をする父を持ち、大阪の情報雑誌の編集者になった20代。障がい者福祉、高齢化、産業の低迷など、日々、目の前に起こる「社会の困りごと」を、ど

うにか解決できないかと、2012年にNPO法人チュラキューブを立ち上げる。2014年には大阪・淀屋橋に「オフィス街のランチカフェ×障がい者福祉施設」をテーマにした、就労継続支援事業所をプロデュースし、2016年度グッドデザイン賞を受賞。その他、2019年には、大阪市住吉区の高齢

者地域の食堂を「地域の孤食支援×障がい者福祉」にしたことで、2度目のグッドデザイン賞を受賞。さらに健康寿命を伸ばそうAWARD2019では厚生労働大臣 団体部門 優秀賞にも選ばれた。関西大学、近畿大学にて非常勤講師を務めるなど教育分野でも精力的に活動を行っている。

